

令和7年度かながわ学びづくり推進地域研究委託受託地区の取組【藤沢市】

【研究テーマ】 「家庭・地域とともに取り組むカリキュラム・マネジメント」

今年度は、御所見中学校区（御所見中学校・御所見小学校・中里小学校）において、義務教育9年間を見据えた子どもたちの学びに目を向け、義務教育9年間で身に付ける力を、児童・生徒、保護者、地域、教職員がともに学習し、同一イメージを共有しながら研究を進めています。

各学校では、児童・生徒の実態に応じて、研究テーマを設定し、校内研究に積極的に取り組んでいます。また、小・中学校間で公開授業や研修会への参加等で交流を深め、地域の実態や児童生徒の課題を踏まえた小・中学校の連携を進めています。



	御所見中学校	御所見小学校	中里小学校
テーマ	「輝き続ける生徒の育成を目指して ～対話を中心にして主体的で深い学びの授業づくり～」 自発的に課題を見つけ、計画的に行動したり探究したりする力に課題があるという生徒の実態を踏まえ、校内研究推進委員会を中心に改善を図る。講演会や研究授業、小学校や地域との連携を通じ、研究を進めていく。	「学んで楽しい！ 子どもが主役の授業づくり ～学び心を育てよう～」 Society5.0を生きる子どもたちが身に付ける必要のある力について、児童・生徒、保護者、地域、教職員が共に同じイメージを持つ。そして、その共通した児童・生徒像をめざすための具体的な手立てについて研究する。	「できた！ わかった！ があふれる授業 ～のぼそう 聴く力～」 児童の実態を踏まえ、『基礎・基本の学力』『聴くこと』についての研究を進める。「できた！」「わかった！」の声教室にあふれる授業づくりの研究をする。
研究内容	①教科横断的な学びの追究 ・教員の連携を深め、情報共有や共同授業の機会を増やし、教科横断的な授業力の向上をめざす。 ②コミュニケーションスキル向上を図る ・効果的なコミュニケーションスキルの習得を通じ、社会での適応力を高め、豊かな人間関係を築く力を育てる。 ③小・中学校9年間で育成する子ども像の共有・実現 ・小中合同の研究を通して教科指導の系統性を確立する。また、行事等での交流で児童生徒理解を深める。	研究内容 ・講師を招聘し、Society5.0を生きる子どもたちに身につけさせたい力についての講演会を開催。 ・学校間の相互交流に努め、育てたい地域の児童・生徒像を踏まえた連携の充実を図る。 ・研究推進担当を中心に情報共有し、研究の充実を図る。研究授業による授業改善、授業力向上を図る。	研究内容 国語部、算数部、体育部の3部会で研究を進める。 ・国語部・・・聴く姿勢づくりのための日常指導を研究する。各学年の内容を確認し、聴く指導を系統立てる。 ・算数部・・・各学年の内容を系統的に捉え、児童の考えを大切に授業研究を進める。 ・体育部・・・ニュースポーツを取り入れ、児童が積極的に参加できる授業の工夫を目指す。
取組事例	①公開授業 ②講師招聘 ・松島 斉氏（一般財団法人日本ペップトーク普及協会 認定講演講師）「自己肯定感を育む言葉がけ～ペップトーク～」 ・鈴木 理恵（同上）「～もっと「自分を好きになる」言葉の力～PEPTALK」「ペップトーク～思いが伝わるコミュニケーション～」 ③学びのアンケート実施 ④小中合同研修会 ⑤3校合同コミュニティスクール、各校行事の参観等	取組事例 ①公開授業 ②講師招聘 ・池田 敏和氏（横浜国立大学教授）「次代を豊かに生きていくために、児童・生徒につける必要のある力」 ・為田 裕行氏（株フューチャーインスティテュート代表）実践授業「プレゼンテーションのコツ」 ③学びのアンケート実施 ④小中合同研修会 ⑤3校合同コミュニティスクール、各校行事の参観等	取組事例 ①公開授業 ②講師招聘 ・池田 敏和氏（横浜国立大学教授）「次代を豊かに生きていくために、児童・生徒につける必要のある力」 ・為田 裕行氏（株フューチャーインスティテュート代表）「ICTを活用した授業づくり」「プレゼンテーションのコツ」 ③学びのアンケート実施 ④小中合同研修会 ⑤3校合同コミュニティスクール、各校行事の参観等